

## トピックス

### 「和牛の輸出戦略 ますます広がる世界マーケット」テーマに (株)ミートコンパニオン植村光一郎常務取締役がセミナー

(株)ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役は4月18日、東京・有明で開催された展示会、食肉産業展の食肉情報セミナーに登壇し、「和牛の輸出戦略 ますます広がる世界マーケット」と題し講演を行った。

植村氏は、日本畜産物輸出促進協議会と協力し、同協議会の世界各国での食品見本市への出展や各種セミナー等を通じて和牛の輸出促進活動を展開してきた。講演では、2013年以降に氏が同行した14ヵ国での和牛プロモーション活動を通じて得た知見や感想を交えながら和牛の輸出戦略について解説した。

2013年10月にニューヨークを訪問した際には、現地の食肉業者に「アメリカでは赤身肉が流行っている。和牛のようなオイリーな肉を見たらアメリカ人は誰も食べないよ」と揶揄されたという。しかし、プロモーション活動を重ね

和牛の知名度が上がるにつれ、「スイスでは『和牛は安い』と言われ衝撃を受けた。和牛はトリュフやキャビアと同じような価値があるのだと実感した」と語った。また、香港でアイルランド産の純血のWAGYUと韓国の固有種である韓牛、日本産和牛が同じ価格帯であったことに触れ、「これまで和牛の歴史や飼養環境など、生産工程の優位性のPRが不足していた。QRコードを利用し、海外の消費者等にその場で正確な情報を提供する品質情報提供システムの構築が必要だ」と述べた。

